

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	東京都	市町村名	練馬区	大学名	
派遣日	(事前相談) 令和3年 8月27日(金) 10:00~11:00 (研修) 令和3年10月19日(火) 14:00 講師来庁 14:15~ 事務局との打ち合わせ 14:30~15:45 研修会 15:45~16:00 事後打ち合わせ等 16:00 講師退庁				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> 派遣 / <input type="radio"/> 遠隔				
派遣場所	練馬区立学校教育支援センター(東京都練馬区光が丘6-4-1)				
アドバイザー氏名	港区立筭小学校 主任教諭 花島 健司 先生				
相談者	練馬区教育委員会教育振興部教育指導課 指導主事 四ツ目 理恵				
相談内容	<p>・練馬区における在留外国人の人口は約21,000人であり、中国籍・韓国籍・フィリピン籍の在留外国人は人口の約7割を占めている。</p> <p>・「令和3年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等のに関する調査」において、前回調査と比較し、緩やかな増加傾向にある。</p> <p>・区が行った家庭教育等に関する調査では、児童生徒の母親、あるいは両親共に日本語が不自由な場合があることや、一部の外国籍保護者においては日本語を勉強する意思がないことが分かった。</p> <p>・生活スタイルや文化の違いから、児童の就学時の手続きや準備する物等がそろわず、対応に苦慮するケースも多くなってきている。</p> <p>以上のことから今年度より教職員向けに研修を実施し、文化間移動をする子供たちの現状および学校における受入れ時の留意点、校内支援体制等の構築を推進したい。合わせて、日本語指導講師、外部の日本語指導教室等と校内の連携、保護者や地域との連携、指導体制の構築についてアドバイスをいただきたい。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>区内小中学校に勤務している教職員対象の研修会講師としてアドバイザーを招聘し、外国籍児童生徒および保護者の学校生活を送る上での困難さ、学校・区教育委員会ができること、取り組むべきことについて講義いただいた。合わせて、日本語指導講師、外部の日本語指導教室等と校内の連携、保護者や地域との連携、指導体制の構築についてアドバイスいただいた。</p> <p>講義「成長・発達の途上で文化間移動をする子供たち」</p> <ol style="list-style-type: none">外国人児童生徒等の受入れの状況発達の途上で文化間移動する子供たち複数の言語に触れて育つ子供たち外国人児童生徒等の義務教育以降の現状と課題学校の受入れ体制づくり・役割分担実際の指導の様子、他自治体等の取組事例初期指導で活用できる指導資料等の紹介				

(様式3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・アドバイザー派遣を通し、区の外国籍等児童生徒支援の内容や体系、各校での取組・課題等について整理することができた。・区の施策等、横断的な体制整備に必要な視点をアドバイザーから教示いただいた。・教育委員会および他課が個々に行っている外国籍等児童生徒の支援について、それぞれが連携し、子供および保護者、受け入れている学校をサポートしていくことが大事であることを理解した。・研修会では、受講者に対して文化間移動する子供たちの状況および支援の必要性について具体的に伝えてもらい、様々な機関と連携することの重要性を示していただいた。・今後「子供たちのために」という視点で連携強化および事業構築に向けて具体的な対応を検討していく。
--------------------	---

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。